

団体名	特定非営利活動法人 Homedoor	<div></div>	<div></div>
事業名	若年層を中心とした生活困窮状態・ホームレス状態の人の生活相談及び就労相談事業		
実施期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日		
助成(実績)額	5,000,000 円		

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
<p>・事業に関わる課題</p> <p>Homedoor へ「家がない」「生活に困っている」と相談に来る相談者は年々若年化傾向(2022 年度 840 人 平均年齢 41.3 歳)にあり、中には被虐待体験を持つ人や児童養護施設退所者などのケアリーバーも多くいる。そのような人たちが居場所を求めてグリ下に行き、犯罪に巻き込まれるケースもみられる。現在、大阪市では居住のない要保護者に対して、一律にケアセンターや自立支援センターの入所を勧奨し、それ以外の場所での生活保護の開始を認められない運用となっている。しかし、自身の特性から集団部屋での生活を懸念される方や、家はないが就労している方の利用は難しい。とりわけ若年化傾向にある相談者には高齢層のホームレスの人の利用が多いケアセンターの入所を諦める傾向にある。また、生活保護を利用できる条件下であっても、過去の被虐待経験から扶養照会を懸念し、生活保護以外の選択肢として、就労による生活再建を希望される人がいる。しかし、適切な就労指導を受けておらず、自身の適性への理解がなく、キャリアプランを考える時間もないまま、非正規雇用を転々とし、不安定な居住実態を抱えている潜在的貧困層への支援が課題となっている。</p> <p>・事業概要</p> <p>“誰もが何度でもやりなおせる社会”を目指し、広義のホームレス状態にある人が、その人の希望する形でホームレス状態から脱却できるように、ワンストップ型の支援を展開する。</p> <p>まず、アウトリーチとして夜回りでの直接訪問やウェブ広告、ネットカフェやコンビニの店舗のポスター掲載等により、潜在的に困窮しているホームレス状態の人へ広くアプローチする。これにより、Homedoor に相談に来られた方に、専門資格を有する相談員による生活相談を実施。相談後、すぐに入居いただける個室型無料宿泊施設「アンドセンター」を独自に準備し、2週間滞在いただきながら生活再建のための就労支援・生活支援を行う。より長期での支援が必要な方には、伴走型支援シェルター「アンドベース」に宿泊してもらいながら、就労支援員による就労相談の実施や心理的ケアを行うカウンセリングを通じて、自分の適性の理解や希望するキャリアプランを描けるようになってもらう。生活再建後、アフターフォローとして定期面談を実施し、再貧困化を予防するために途切れない一貫した支援を提供する。</p>	<p><u>アウトリーチ</u></p> <p>・大阪市北区で路上生活している方への安否確認として、夜回りを毎月 1 回開催。(添付資料 1)</p> <p>・ウェブ広告を活用し、「家がない」等の検索結果に Homedoor が表示されるように設定。</p> <p>・他団体と連携し、「家がない」「経済的に生活に困っている」という相談に対して Homedoor へ繋げてもらう。</p> <p>・他団体が運営する施設等にポスターの掲載</p> <p><u>相談支援</u></p> <p>・生活相談に来られた方に対して、有資格者によるヒアリングやアセスメントを実施し、課題の整理及び生活再建の計画を策定。</p> <p>・週に 1 度ケース検討会議を行い、それぞれの担当の相談者に対して適切な支援ができているかを確認。</p> <p><u>就労支援</u></p> <p>・キャリアコンサルタントの資格を持っている就労支援員と、必要に応じて個別で面談を実施。</p> <p>・LITALICO ワークス、株式会社リクルートと共同で就労プログラムを実施。</p> <p>・理解のある就労先を開拓し、求人紹介を行う。</p> <p>・若年層における就労支援について、他団体との意見交換。</p> <p><u>生活支援・宿泊支援</u></p> <p>・個室型無料宿泊施設「アンドセンター」を運営。18 部屋を提供。</p> <p>・物件探しのサポートとして、不動産会社やグループホームを紹介。</p> <p><u>アフターフォロー</u></p> <p>・生活再建後もアフターフォローとして、定期面談を実施。近況を伺い、新たな課題があればヒアリング。</p> <p>・卒業生 LINE グループを作成し、近況の確認やイベント開催の広報を実施。</p>	<p><u>アウトリーチ</u></p> <p>・夜回り月 1 回、計 12 回の開催。計 740 名に声掛け。</p> <p>夜回り開催日 4/9, 5/14, 6/11, 7/9, 8/13, 9/10, 10/9, 11/12, 12/10, 1/14, 2/11, 3/12</p> <p>(当初は 11 月～2月は月 2 回の予定だったが、人員不足により月 1 回に変更)</p> <p>・ウェブ広告より、年間で 11 万件件表示。内、相談に繋がった件数は 632 件(Homedoor を知ったきっかけが「ネット検索」と回答した件数)</p> <p>・他団体からの紹介 40 件(Homedoor を知ったきっかけが「支援団体からの紹介」と回答した件数)</p> <p><u>相談支援</u></p> <p>・年間で 1052 件の専門の相談員による相談対応実施。</p> <p>・うち、直接来所された方に生活支援を年間で 317 件実施。</p> <p>・5/29 こども家庭庁支援局虐待防止対策課が開催する子ども・若者シェルターの説明会に参加。</p> <p>・他団体との連携として、認定 NPO D×P と若年層の相談者やグリ下の状況について定期的に意見交換を実施。</p> <p>・10/16 他団体との連携として、NPO 法人風テラスと女性相談者に関する情報交換を実施。</p> <p><u>就労支援</u></p> <p>・就労に関する面談を年間 79 件実施。</p> <p>・ITALICO ワークス、株式会社リクルートと共同で就労プログラムを実施。</p> <p>実施日:10/11 4 名が参加 実施日:2/7 7 名が参加</p> <p>・就労先の開拓として、年間で 7 件の企業と打ち合わせを実施</p> <p>・4/16 大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課と若者の就労に関する意見交換を実施</p> <p>・6/18 大阪労働協会(しごとフィールド)、NPO 法人 HELLOlife(サポステ)と若者の就労に関する情報交換を実施。</p> <p><u>生活支援・宿泊支援</u></p> <p>・個室型無料宿泊施設「アンドセンター」に年間で 212 人を宿泊案内。</p> <p>・不動産会社を通じて、年間で 119 人が新たにアパートへと居宅移行。</p> <p>・11/28 居住支援法人のセミナーに参加し、居住に関する意見交換を行う。</p> <p><u>アフターフォロー</u></p> <p>・生活再建後のアフターフォローとして、定期面談 49 件実施。新生活に関する課題のヒアリング。</p>